

ビッグプロジェクトから生まれる明日の近畿。

最新の技術を結集して近畿圏の整備、発展に取り組んでいます。

工事着工目前。神戸と淡路島を結ぶ
世界最長の吊り橋

●明石海峡大橋

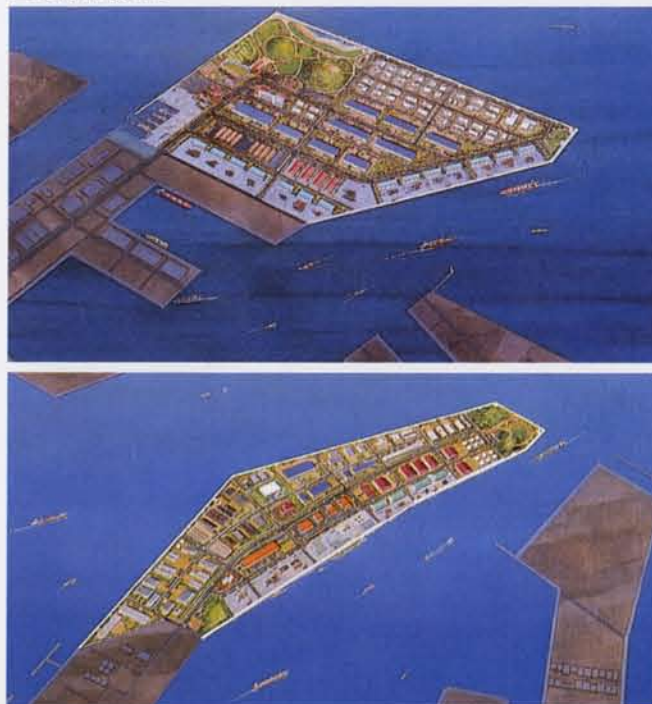
東京湾横断道路とともに大きな関心が寄せられている、本州四国連絡橋、神戸・鳴戸ルート「明石海峡大橋」。明石海峡大橋については道路鉄道併用橋を分離し、道路単独橋としての検討がなされてきました。昭和59年、経済的には建設可能であるとの調査結果を得、同60年、建設省、運輸省、国土庁の3省庁が道路単独橋の計画変更に合意。同61年度着工に着手するために今後の調整がはかられています。同大橋は、神戸市垂水区と淡路島の淡路町を結ぶ3.6キロ6車線の吊り橋で、橋梁形式3径間2ヒンジ補剛トラス吊橋（中央径間1,780m、側径間890m）全長3,560mの世界最長の吊り橋となります。

※建設費用は3,740億円（道路単独橋のみ）。昭和59年度価格。工期は約13年の予定です。



明石海峡大橋完成予想図

土地利用想定図



●泉大津沖

●尼崎沖

近畿圏の広域ごみ処分地と大阪湾の
有機的な整備に应运

●フェニックス計画

フェニックス計画とは、近畿2府4県149市町村より発生する廃棄物を、大阪湾奥部の2港湾に埋め立て処分する広域ごみ処理事業のことです。近畿圏の内部において、ごみ処理場用地の確保が困難となってきました。そこで大阪湾圏域での社会・経済活動の進展に対応し、さらに新たな用地確保に対応するため、昭和57年3月に関係地方公共団体及び関係港湾管理者の出資により、大阪湾広域臨海環境整備センターを設立。昭和61年春着工予定で、10年後の完成を目指しております。

21世紀を志向し魅力的な環境と
文化創造を図るモデル都市づくり

●関西文化学術研究都市

古来より近畿は我国の文化と歴史を型づけてきました。文化活動の場として先導的役割を担ってきた近畿に、21世紀の

新しい都市「関西文化学術研究都市」が建設されようとしています。京都・大阪・奈良の3府県にまたがる約20,000haの丘陵地に、文化学術研究、産業振興、地域整備、新都市づくりを目的に、高度な学術研究機能を集中配置した都市を創ろう

とするものです。関西国際空港に劣らない大型プロジェクト。産・官・学が一体となって取り組む大事業です。

私たち日本土木工業協会関西支部会員各社は、総力を上げて活力ある近畿の創生に貢献してまいります。

関西文化学術研究都市航空写真

- 各クラスターに立地が予定される施設
 - ①研究・教育機能
 - ②公的研究機関
 - ③中核的機能
 - ④産・学・住の自立都市
 - ⑤住宅都市、研究機関
 - ⑥農系研究機能
 - ⑦研究・教育機能
 - ⑧先端技術産業拠点
 - ⑨21世紀の住宅都市
- ※クラスターとは「小都市」を意味し、①～⑨は各クラスターの位置を示す。

